

ZIMMER BIOMET Implant



T3® ハンズオンコース

インプラント埋入における骨造成を 成功させるための工夫

手技とデバイスの両面から - Upward Motion Scissors
Technique (UMST) と Bone Enhancing Cover Screw (BECS)

日時

2021年 **12月19日**(日)
9:00~16:00(受付時間 8:30)

会場

浜松町コンベンションホール 大会議室 C
東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー 6F

定員

10名

受講料

30,000円 (消費税込、模型代・昼食代・サーティフィケートが含まれます)

講師



猪子 光晴先生

北海道北見市にて
「いのこ歯科医院」開業

【所属】

日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座
非常勤講師
JIADS ペリオインプラントアドバンス講師
アメリカ歯周病学会(AAP)会員
日本歯周病学 専門医
日本臨床歯周病学会 認定医・指導医、
歯周インプラント指導医
日本インプラント学会
Osseointegration Study Club of Japan
JSCT(The JIADS Study Club Tokyo)

webお申し込みページ

<https://zimmerbiometdental.jp/seminar/implant/20211219.html>



インプラント埋入における骨造成を成功させるための工夫

手技とデバイスの両面から—Upward Motion Scissors Technique (UMST) と Bone Enhancing Cover Screw (BECS)

T3® ハンズオンコース

概要

重篤な垂直的骨欠損、あるいは顎堤の骨幅が狭いような症例では、骨造成術は避けて通れません。その術式において合併症を防ぎ、予知性の高いゴールに近づけるには、一連の外科手技を血液供給の観点から考える事が重要です。その中でも歯肉の厚さを出来るだけ術前の状態のまま維持し、歯肉の薄い所にはチタンメッシュなどの非吸収性のマテリアルに近接しない器具が有効です。

本コースでは、GBR を伴うインプラント処置における一連の外科手技の重要性、そして歯肉の厚さを出来るだけ術前の状態のまま維持し血液供給を確保できるUMST と、歯肉の薄い部位においてチタンメッシュを近接しないBECS について詳しく解説し、実際の手技を学べる実習を行います。

また、チェアタイムを短縮し印象精度の向上に寄与しうる、Encode® インプレッション・システムについても取り上げます。

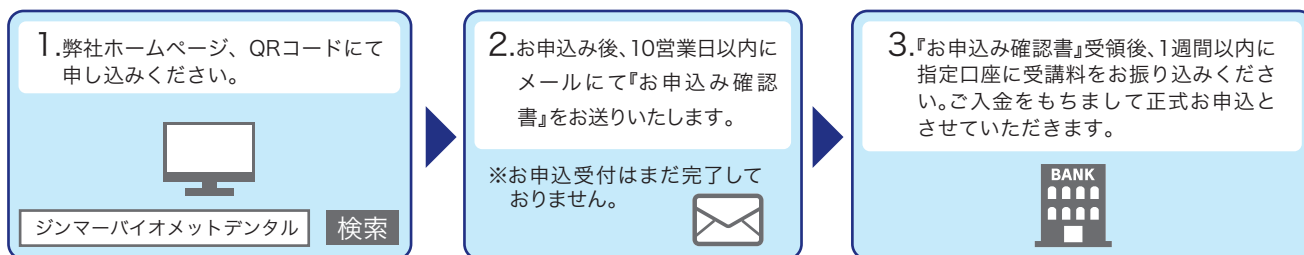
習得内容

- T3 のコンセプトと適用症例
- BECS を併用したGBR
- サージカルプロトコル
- デジタル・インプレッション

プログラム

- インプラント手技における血液供給の重要性
- 軟組織マネジメントの新提案—UMST
- GBR を成功させるためのデバイス—BECS
- Encode® インプレッション・システム

■お申し込み方法



◎ご入金後のキャンセルによるご返金はいたしかねます。また、当日、現金でのお支払いは受付できませんので、予めご了承ください。



お申込QRコード

会場アクセス

浜松町コンベンションホール 大会議室 C
 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー 6F



会場アクセス

■お問合せ先は

ジンマー・バイオメット・デンタル合同会社
 エデュケーション部
 3ij.Education@zimmerbiomet.com

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ご提供いただいた個人情報は、当社の「個人情報の取り扱いについて」(https://zimmerbiometdental.jp/privacy_policy/)に従って適切に取り扱います。
- ・ご登録いただいた個人情報は、本セミナーの運営のために利用させていただきます。また、利用目的の範囲内において、委託業者に個人情報の取り扱いを委託することがあるほか、講師に参加者名簿として提供することがあります。
- ・ご登録いただいた情報をもとに、今後のセミナー等のご案内をさせていただく場合があります。お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他お問い合わせにつきましては、左記お問い合わせ先までご連絡ください。